

2001年に発表された書籍・論文

- 岩根久、「ロンサルと『戯歌集』^{ざれ} -その匿名の問題について」、『Gallia』（大阪大学）、40号、2001年3月、pp.27-33
- 延味能都、「ロンサルにおけるlyreとluth(luc) -2つの弦楽器」、『ヨーロッパ言語文化研究』（岡山大学）20号、2001年、pp.23-50
- 大澤啓徳、「R.ガルニエの悲喜劇『ブラダマント』における「語られる視線の作用」」、『ロンサル研究』（日本ロンサル学会）14号、2001年6月、pp.35-50
- 折井穂積、「ラプレーの『第三之書』とマロの風刺詩『地獄』」、『仏文研究』（京都大学）、32号、2001年、pp.13-42
- 近藤壽良、Les statuts de l'ordre de la Toison d'or: d'après le manuscrit KB76E14 de La Haye、『高岡法科大学紀要』、12号、2001年3月、pp.84-124
- 斉藤広信、「mandragoraからmain de gloireへ」、『ロンサル研究』（日本ロンサル学会）14号、2001年6月、pp.17-33
- 佐藤猛、「14・15世紀フランスの諸侯領における上訴法廷（cour d'appel）の創設」、『西洋史論集』（北海道大学）、4号、2001年3月、pp.43-64
- 佐藤正樹、「『パンタグリユエル』の空間構成について」、『フランス文学語学研究』（早稲田大学大学院）、20号、2001年1月、pp.47-55
- 鈴木教司、「売官制に関する王令一覽(1)」、『論集』（愛媛大学法文総合政策学科）10号、2001年2月、pp.45-76
- 鈴木教司、「フランス売官制の消長（19）司法官職を中心にして」、『愛媛法学会雑誌』、27号-4、2001年3月、pp.1-26
- 鈴木教司、「フランス売官制の消長（20）司法官職を中心にして」、『愛媛法学会雑誌』、28号-2、2001年9月、pp.1-16
- 鈴木教司、「ヴァロワ期パリ=シャトレ裁判所の司法諸職と実務（1）」、『論集』（愛媛大学法文総合政策学科）、11号、2001年9月、pp.1-42
- 瀬原義生、「シュトラスブルク市における宗教改革の貫徹とその後の展開」、『立命館文学』、571号、2001年9月、pp.1-30
- 筒井伸保、La nature et la «seconde nature» chez Montaigne、『フランス文化研究』、32号、獨協大学外国語学部、2001年3月、pp.81-94
- Yumiko TSUTSUI、Le Pantagruel-un coup d'essai、『明治学院論叢』、664号、フランス文学特集34、2001年3月、pp.1-22.
- Claude-Gilbert DUBOIS、*L'erreur populaire de la Papesse Jane* (1587). Circonstances de rédaction et évolution éditoriale (1587-1613)、『ロンサル研究』（日本ロンサル学会）14号、2001年6月、pp.69-91
- 永井敦子、「16世紀ルーアンの都市行政に関する一考察」、『北大史学』、41号、2001年11月、pp.1-22

HAMADA Akira、Dusang et de l'eau dans le livre "Les Fers" des *Tragiques*、『ロンサール研究』(日本ロンサール学会)14号、2001年6月、pp.17-33

葉狩隆夫、「エチエンヌ・パスキエにおける国家理性の問題(1)」、『ソフィア』(上智大学)、50巻1号、2001.10、pp.85-105

林千宏、「Pierre de Ronsard, Sur la mort de Marie」における新プラトン主義的世界像、『ロンサール研究』(日本ロンサール学会)14号、2001年6月、pp.1-16

Bruno PEYRON、「De l'expérience」 ou la mise en abîme de *Les Essais*、Etudes de langue et littérature françaises (日本フランス語フランス文学会)、78号、2001、pp.14-28

保苅瑞穂、「モンテーニュは宗教戦争をどのように見たか」、『フランス語フランス文化研究』9号、獨協大学大学院外国語学研究科、2001年3月、pp.1-21

Nicolas BOCHENEK、Au seuil des «Discours» politiques de Ronsard、『ロンサール研究』(日本ロンサール学会)14号、2001年6月、pp.51-67

Jean-Marie POTHIER、「La distance intérieure ou le "demi-je" dans Essais de Michel de Montaigne (II)」、『フランス文学研究』(東北大学フランス語フランス文学会)、21号、2001年2月、pp.11-24

松浪未知世、「デュ・ベレー『哀惜詩集』覚書(その2)」、『学苑』(昭和女子大学)、731号、2001年5月、pp.1-11

松本英実、「16世紀フランスの商事裁判所設立王令の登録について」、『法政理論』(新潟大学)33-4、2001年3月、pp.209-279

オリヴィエ・ミエ、「カルヴァンの作品と思想における公的空間と私的空間」(望月ゆか、森川甫訳)、『紀要』(関西学院大学・社会)、89号、2001.3、pp.53-63

山本顕一、「「キュンバルム・ムンディ」ふたたび」、『フランス文学』(立教大学)、30号、2001年3月、pp.13-38

和田光司、「「1572年の規約」について サン・バルテレミー直後のフランス、プロテスタントの一面(下)」、『論叢』(聖学院大学)、14-1号、2001年9月、pp.163-184